

## 6. 第八回（最終回）懇親会 と決定事項

最終回となる第八回懇親会が 2010.7.23 に N T T 武蔵野通研の華迎にて開催され、進行次第は次頁に示した通りである。

初めに今井先生からの挨拶があり、「最終回の懇親会となりました。皆さんの卒業からの約 40 年経ってのこの会合ですが、今回の第八回まで続いてきたのは素晴らしいことです。これまで支えられてきたことへの私からの感謝の記念品です。」と、会合の名前入り風呂敷が参加者全員へ手渡されました（「記念品の風呂敷；今井」の項を後掲）。

返礼の形とはなしたが、会員の有志により今井先生へ記念品相当として「タクシー券相当 p a s m o」を贈らせていただきました（今井哲二博士へ記念品の贈呈 についての文章を後掲）。

乾杯の音頭をとって頂いた島田慶甫さんは、「卒研の一年のみ通研に来た後は、殆どの方が通研に来ないところを、このように 40 年も経った後にも来てくれるのは本当に珍しいことです」と挨拶されました。

**有志による出し物**は、橋本さんと今井先生によるものであった。

橋本さんは、自家製 1967 年製チェロをわざわざ自宅から運んでこられ「ふるさと」と「パッサの無伴奏チェロ組曲第 3 番」を演奏して下さいました。自家製とは思えない素晴らしい音色でした。

今井先生からは「宝生流の謡」の一部を聞かせていただきました。正座をして謡うそのお声は、今井先生とは別人と聞き間違えるような、張りのあるものでした。

さらに、「太極拳 24 式」をご披露いただきました。10 年間続けているとのこと、堂に入ったものでした。

今回は雑談形式にしたため、一人一人の挨拶は抜きにした。

雑談の中では、世界の中の日本（人）のあり方、ハングリー精神、技術力、商品力、語学力などなどについて活発に意見交換がなされた。また、ゴルフ談義もあった。

締め直前に、幹事の一人鈴木威一さんからは「八名という末広がりの参加者であったこともあり、今後の記念に残る懇親会であったと思います。先生とも時々声を掛け合い集まれれば良いがとも思います。」との挨拶がありました。

小野雅敏さんによる締めでは「個々に今後もお会いできればとの願いと、皆様のご健勝を願って一本締めを」との挨拶がありました。

### 決 定 事 項

- 1) 今回で定期の懇親会、会報の発行は終了とする。ただし窓口として引き続き坪井が担当する。
- 2) 会計報告が承認され、残金がゼロ（見込み）となり、会計管理は終了する。
- 3) 来年 2011 年 7 月 23 日（土）に千葉県佐倉の「橋本潔宅」の自家製の家の新築祝い  
に宿泊または日帰りの参加者を募集。参加希望者は直接橋本さんに電話で連絡のこと。

## 通研「今井研卒研究生・有志の会」

### 第八回 懇親会 ( 最終回 )

日時 2010年7月23日(金) 16:10~19:00

場所 : NTT武蔵野通研  
( 華迎 : tel 0422-59-4042 )

#### 進行次第

( 司会 : 坪井 孝光 )

- 1 開会に先立って 坪井、鈴木幹事
- 2 ご挨拶 今井 哲二 先生
- 3 有志による出し物
- 4 会計報告、記念写真
- 5 近況報告等
- 6 今後の予定、第二巻の製本 等
- 7 幹事から

## 今井哲二博士へ記念品の贈呈

本来ならばきちんとした記念品をお贈りするべきところ、先生はそれを遠慮されており、記念品選びに困惑しておりました。懇親会参加予定者にこの事情を伝えたと、提案のあったのが旅行券、又はタクシー券でした。

旅行券をお贈りするのも名案だと思いましたが、几帳面な先生のこと、多分「・・・へ旅をした」などの報告義務を背負ってしまうのではないかと心配になりました。

タクシー券であれば報告の必要性はまったく無く、また体調がすぐれず毎週のように病院に通っているとも伺っておりましたので気軽に利用していただけると、タクシー券に決定させていただきました。

タクシー券そのものではタクシー会社が限定され、利用するには不便が予想されるため、交通機関を幅広く利用でき、タクシー会社によっては pasmo が利用できる「pasmo」をお贈りにいたしました。

(なお、「pasmo」は「suica」と全く同じ機能を持ち合わせており、私鉄が発行するのが pasmo で、JRが発行するのが suica と区別されているとのこと。JRの券売機では、「suica」のボタンを押して pasmo にチャージすることができます)

ここ懇親会の最終回に当たり、感謝を込めて記念品に代え「タクシー券6万円相当」の「pasmo」をお贈りいたします。長年に亘る今井先生によるご指導、ありがとうございました。

記念品贈呈者 氏名：

今井研卒研究生・有志の会

島田慶甫	倉本敏雄	伊藤恭弘	小野雅敏
橋本 潔	鈴木威一	高井謙次	坪井孝光

## 記念の風呂敷

今井 哲二

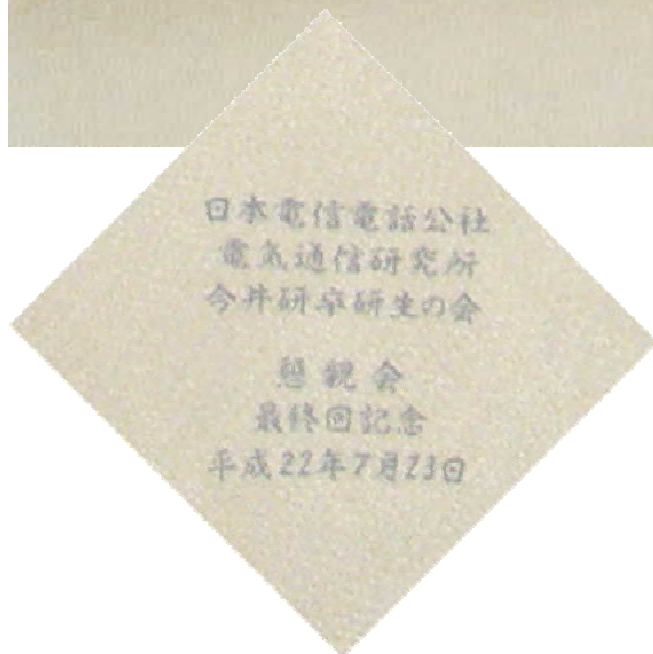
約四十年のギャップを経て“再会したこの会”がこれで終わりになると、やはり名残惜しさは尽きない。と同時に、こうした会に愛着を持たれ、遠路わざわざ「この懇親会」にご出席戴くださった皆さんに何か私の感謝の気持ちを差し上げたいと思った。

多少なりとも後日に残るもの、と考えていた折も折、知人から一見して“何の記念の品かが判る”贈り物を戴いた。“これだ!”と決めて決めたのが“文字入り”の風呂敷である。「風呂敷」の時代ではないかもしれないが、日本人には利用価値もあろう。「三越」に作らせたもので値段も私には妥当であった(本体: ¥1万+型代、桐箱)。

最終回ご出席の八名の方々(含・今井)と、当日はご欠席であったが日頃強い関心を寄せられている倉本敏雄さんと塚本一義さんの分も含め10個用意し、差し上げた。「本会報」、次ページにこの絵模様を示しておく。

なお、本会の幹事長・編集幹事という大役を長年に亘って担ってこられた坪井孝光さんには、同じ素材ではあるが絵柄が異なり(梅の花)、入れた文字も異なるもう一つを、出席者一同の大きな拍手と共に差し上げた。

「懇親会・最終回」出席者に配られた“記念品”



「三越・銀座店」へ数回の電話連絡をし、この間、自分でも二回足を運び出来上がった。私なりに心を込めたつもりである。これを受け取られた会員諸兄にとって、私の感謝の微意が伝わるものとなれば嬉しい限りである。 《今井 哲二》

橋本潔さん  
自家製のチェロによる  
演奏



今井先生  
正座しての「宝生流」謡  
の披露

今井先生  
太極拳の実演

